

8 月度 例会 個人 山行報告書		報告者	神戸	参加 メンバー	CL:神戸
		報告日	8/22		
山 域	東大雪	山行日	2011/08/17(水)		
山 名	ニペソツ山				

山行目的	北海道の眺望の山を楽しむ(200 名山)	コースタイム (天候: 天気図記号)
------	----------------------	--------------------

配布先
集会:12
山行: 1
リーダー
原紙: 集
会担当者

ルート図 (地図を見て正確に)



2.5 万分の 1 地図: ニペソツ山

8/17(水) 小雨のち曇り
5:00 ユース発
5:50 杉沢登山口発(1050m)
6:50-55 一本。樹林帯(1450m)
7:55-8:05 一本。岩礫帯(1730m)
8:55-9:00 一本。小ピーク直下(1845m)
9:50-10:15 ニペソツ山頂上(2012m)
11:50-55 一本。岩礫帯頂上経由(1680m)
13:30 登山口着(1050m)



山行報告 8/15 夜 9 時、苫小牧東港はまだ降り出していなかったが、山岳部 OB の佐溝さんから道東道の占冠(しむかつぶ)トマム間が雨で通行止めという情報を得て、早々に苫小牧泊を決める。16 日朝も高速は通行止めのまま。道から見える川はすべて茶色の濁流だ。小雨の続く中、右狩岳登山口を 9 時半に出て 30 分、小さな渡渉点で弱気の虫が囁いて、安全と判断していたが引き返した。その日は佐溝さんの予約していた糠平(ぬかひら)のユースに泊まり交流を深めた。

明けて 17 日朝 4 時まだ雨は降っていたが空は昨日より明るく、今日の予定のニペソツ山は期待できそう。6 時前に登山口にいた先行者が「足が遅いので」と同行を固辞したので仕方なく一人でスタートした。事前に調べた通りそれほど急な道でなく快調に歩く。30 分程で雨は止み、カッパの上は脱いだが藪にタツプりの雨粒で上半身はベツタリ。汗かきの私にはちょうど良い。前半は樹林帯で小川状態だがぬかるみは無かった。やがて天狗のゴルという稜線にでるとガスが東側にかかった頂上が望めた。誰も声を上げる所だ。既に標高 1600m だが、登り返しがあって距離が長い。まだまだこれからと景気付け(熊除け)に歌を歌い始める。笹藪からハイマツの灌木帯を過ぎ岩礫帯に来ると、そこら中から「ピチツ」というナキウサギの声がする。なかなか見られないのに何匹も見れてラッキーだ。今日はガスが完全に晴れる事なく、西に時折見える大雪山から十勝連峰の一部を見て、あれはトムラウシかな。

などと縦走に思いをはせた。頂上で後続の登山者を待つも、しびれを切らして下山開始。下山後約 1 時間でやっと後続と行き合う。岩礫帯の頂上経由のホロカ温泉コースを先輩の亀山さんが行かれたとの事で辿ってみたが頂上のケルンを過ぎて道は灌木帯に消えていった。仕方なく元の道に戻った。半径 3 キロ四方我一人と思ひ、一人カラオケを楽しんでいたがここでもう一人の後続者とすれ違ったらしく、下山して一台車が増えてびっくりした。今回も能には会わず無事登山が出来た事に感謝!

フリースペース
カキの紹介・スケッチ・エピソード
自由に



確認
(リーダー)
神戸
11/08/24

リーダー所見
(所見) 北海道の初日は大雨警報の後で川は増水していた。昨年渡渉で危ない目に遭っており、安全を見て右狩岳を中止した。今回はニペソツ登頂よりも OB の佐溝氏との交流が出来てよかったと思う。



作成
(報告者)
神戸
11/08/20